

# 地方債(市債)の借入について

地方債残高を抑制するため、令和3年度に新たな財政規律を策定しました。

これは、事業規模が概ね30億円を超える大規模事業や普通交付税の代替措置である臨時財政対策債等を除く、その他通常債について、「起債総額(借入額)を公債費(元利償還額)以下に抑える」というものです。

予算の示達時点(1月22日現在)において、「その他通常債」の公債費(＝借入可能額)は11億263万円となりました。

項目	臨時財政対策債等 ①	大規模事業債 ②	その他通常債 ③	合 計 ①+②+③
令和8年度 公債費 (A)	18億2103万円	3億282万円	<b>11億263万円</b>	32億2648万円
令和8年度 地方債借入見込額 (B)	0円	7億1630万円	<b>15億3000万円</b>	22億4630万円
令和8年度 公債費-借入見込額 (A-B)	18億2103万円	△4億1348万円	<b>△4億2737万円</b>	9億8018万円

※ 令和8年度公債費(A)の合計は、一時借入金利子分(500万円)を除いているため、予算額と一致しません。

※ 臨時財政対策債等には、臨時財政対策債のほか、減収補填債や減税補填債なども含まれます。

※ 大規模事業債は、「資源化施設の整備」に係る地方債です。

財政規律を意識したなかで予算案の策定を進めていましたが、計画的に進めている資源化施設や湖北消防署などの整備のほか、交付税措置がある事業債の活用を図った結果、「その他通常債」の発行目標額を上回ることとなりました。

今後も老朽化が進む公共施設等の改修や更新などの実施には地方債の活用が欠かせない状況ですが、地方債残高や関連指標などの推移を注視しつつ、持続可能な財政運営を図っていきます。

## 地方債残高の見通し

	臨時財政対策債等	大規模事業債	その他通常債	合 計
令和7年度末時点の地方債残高見込	160億1670万円	49億3628万円	120億5941万円	330億1239万円
令和8年度 元金償還見込額	17億7393万円	2億8059万円	9億7485万円	30億2937万円
令和8年度 地方債借入見込額	0円	7億1630万円	15億3000万円	22億4630万円
令和8年度末時点の地方債残高見込	<b>142億4277万円</b>	<b>53億7199万円</b>	<b>126億1456万円</b>	<b>322億2932万円</b>

## 政策的経費の主な地方債

資源化施設の整備	7億1630万円
湖北消防署の整備	3億8460万円
湖北小学校屋内運動場の再建	2億6600万円
橋梁の長寿命化	1億7620万円
庁舎の長寿命化	1億4260万円

※予算における地方債の金額は、その事業における借入限度額であり、実際の借入額は事業の執行状況に基づき減少することがあります。

### [用語解説]

**地方債(市債)** 地方公共団体は、学校や庁舎等を建設する場合など、一時に多額の経費を必要とすることがあります。地方債とは、その資金調達のために負担する債務であって、返済期間が一般会計年度を超えて行われる借入金です。

**臨時財政対策債** 地方公共団体の財源不足に対処するため、平成13年度から地方交付税の一部の代替措置として、地方財政法第5条の特例により発行される地方債です。この臨時財政対策債の元利償還金相当額については、その全額が後年度普通交付税の基準財政需要額に算入されます。

**公債費** 地方公共団体が借り入れた地方債の元利償還金及び一時借入金利子の合算額をいいます。